

- 問1 2000年から2010年にかけてのアフリカ州では、人口増加率が約27.6%と他の地域に比べて非常に高い数値を示しています。この人口の変化が土地利用に与えた影響について説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 (2016年 東京都公立入試 類似)
- 人口増加による労働力不足を解消するため、機械化による大規模農業が普及し、不要になった森林をすべて牧草地へと変えた。
 - 急増する人口を養うための食料増産が必要となり、森林を伐採して農地へと転用したことで、森林面積が減少し農地面積が増加した。
 - 砂漠化の進行によって居住に適さない土地が増えたため、残された森林を保護し、限られた農地を都市部へと転換した。
 - 急速な工業化が進んだことで、工場用地や都市を整備するために森林が伐採され、農地も工業団地へと作り替えられた。
- 問2 カカオ豆や原油、銅などの国際価格が、数年の間に急上昇したり半分以上に下落したりと激しく上下動を繰り返す状況において、特定の農産物や鉱産資源の輸出のみに頼る経済構造は、国家財政が不安定になりやすいという課題があります。このような経済構造を何といいますか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
- 持続可能な開発
 - 多角経営
 - ブランテーション
 - モノカルチャー経済
- 問3 世界の各州における人口と穀物生産量の割合を比較した際、アジア州は人口の数値に対して穀物生産量の数値が約3倍以上に達しているのに対し、アフリカ州は約1.6倍程度にとどまっています。このような統計的背景から推測される、アフリカ州で飢餓などの食料問題が深刻化しやすい理由として最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- 州全体の人口が世界で最も多く、生産された食料が完全に行き届かないため
 - 穀物の総生産量は世界で最も多いが、その多くを輸出に回しているため
 - 大陸の面積が他の州よりも極めて狭いため、耕作できる土地が不足しているため
 - 一人あたりの穀物生産量が他の州と比較して極めて低い水準にあるため
- 問4 アフリカ大陸の北東端、シナイ半島付近に位置する国が、世界の海上交通において極めて重要な役割を果たしている理由として、最も適切な説明を選択してください。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
- ギニア湾に面した港を持ち、アフリカ中部で産出される原油の主要な輸出拠点となっているため
 - 東アフリカの高原地帯に位置し、インド洋を介した貿易の拠点として古代から栄えてきたため
 - アフリカ大陸の最南端に位置し、大西洋とインド洋を航行する船舶の重要な補給地となっているため
 - 地中海と紅海を結ぶスエズ運河があり、ヨーロッパとアジアの航路を大幅に短縮できるため
- 問5 アフリカ西部のギニア湾に面するコートジボワールでは、国の輸出額の多くをカカオ豆などの特定の農産物に依存しています。このように、少数の特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済構造を何といいますか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- 持続可能な経済
 - モノカルチャー経済
 - 輸入置換型工業
 - ブランテーション農業
- 問6 コバルトやマンガンのように、地球上の埋蔵量が非常に少ないか、あるいは技術的・経済的な理由で抽出が困難な希少金属の総称を何と呼ぶか、正しいものを選びなさい。 (2017年 兵庫県公立入試 類似)
- レアメタル
 - 非鉄金属
 - ベースメタル
 - 貴金属
- 問7 特定の鉱産資源や作物などの単一の製品の輸出に大きく依存する経済構造を何というか、最も適切な名称を選びなさい。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
- アグリビジネス
 - モノカルチャー経済
 - 輸入代替経済
 - 知識インフラ経済
- 問8 世界地図において、アフリカ大陸の北東部に位置し、北側を地中海、東側を紅海に囲まれた地域に存在する国家の特徴について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2019年 福島県公立入試 類似)
- 黄河の流域で古代文明が栄え、青銅器や甲骨文字が使われた。
 - ナイル川の流域で古代文明が栄え、太陽暦が発明された。
 - インダス川の流域で古代文明が栄え、仏教やヒンドゥー教が誕生した。
 - ティグリス川・ユーフラテス川の流域で古代文明が栄え、太陰暦が使われた。
- 問9 世界の諸地域に関する学習において、アフリカ東部、中央アジア、オーストラリア東部、ブラジル東部の4つの地点の情報を整理したとき、北緯9度、東経38度の条件に最も合致する国はどこか、次の中から選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- ブラジル
 - オーストラリア
 - カザフスタン
 - エチオピア
- 問10 サバナ気候に見られる「自然環境」と、それに関連する「観光業」の仕組みについての説明として、背景や因果関係が正しく述べられているものはどれですか。 (2021年 広島県公立入試 類似)
- 短い夏にだけ草が成長するツンドラ地帯であり、トナカイなどの家畜とともに移動する遊牧民の生活を見学するツアーが中心である。
 - 一年中高温多湿であるため、多様な植物が生い茂るジャングルが形成され、貴重な熱帯の鳥類を観察する観光施設が整備されている。
 - 乾燥した気候が続くため、森林が育たず砂漠化が進んでいるが、その過酷な環境を体験するアドベンチャーツアーが人気を集めている。
 - 雨季と乾季という周期的な降雨の変化によって広大な草原が維持され、そこを餌場とする野生動物が集まるため、野生動物観察を目的とした観光が成立している。
- 問11 アルジェリアとブラジルの貿易統計から読み取れる、両国の産業構造の違いについて述べた文として正しいものを選びなさい。 (2017年 兵庫県公立入試 類似)
- アルジェリアは原油や天然ガスといった鉱物燃料の輸出に特化しているが、ブラジルは鉄鉱石、大豆、機械類など多様な品目を輸出している。
 - 両国とも輸出品目の上位3位までをエネルギー資源が占めており、一次産品のみに依存する共通の課題を抱えている。
 - アルジェリアは機械類や自動車の輸出が中心の工業国であるが、ブラジルは大豆やコーヒーなどの農産物のみを輸出している。
 - アルジェリアはブラチナの輸出がアフリカで最も多い資源国であり、ブラジルは原油と天然ガスのみを輸出するモノカルチャー経済である。
- 問12 1950年から2013年にかけて人口が約5倍に急増したアフリカ大陸において、このような人口増加が起きている主な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
- 経済が高度に発達し、多くの労働力を他大陸から受け入れたため
 - 家族計画の普及によって出生率が世界平均より低くなったため
 - 医療の普及や公衆衛生の改善によって死亡率が低下したため
 - 一人あたりの所得が大幅に向上し、高齢者の人口が急増したため
- 問13 アフリカ州において、人口が急激に増加し続けている「人口爆発」と呼ばれる現象が起きている主な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
- 広大な砂漠地帯の緑化が進み、居住可能面積が大幅に拡大したため
 - 経済発展に伴い、先進工業国からの労働移民が急増したため
 - 医療の普及や公衆衛生の改善により、死亡率が低下したため
 - 少子高齢化対策として、各国政府が多額の出産助成金を支給したため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 急増する人口を養うための食料増産が必要となり、森林を伐採して農地へと転用したことで、森林面積が減少し農地面積が増加した。	アフリカ州は世界的に見ても人口増加率が極めて高く、2000年代の10年間で約27.6%もの増加を記録しています。この急激な人口増加に対応するためには、人々の生活を支えるための食料を確保しなければなりません。そのため、もともとあった森林を切り拓いて耕作地へと作り替える「農地転用」が大規模に行われました。統計上も、森林面積の減少と農地面積の増加が顕著に現れており、これがアフリカにおける主要な環境問題の一つとなっています。工業化や砂漠化も地域的な課題ではありますが、この時期の広域的な土地利用の変化は、主に人口増加に伴う食料問題に起因しています。
問2	答え 4 モノカルチャー経済	少数の特定の産品に輸出を依存しているため、世界市場における需要の変化や豊作・不作による価格変動が、そのまま国家全体の収入に直結してしまいます。かつての植民地支配の影響により、アフリカやラテンアメリカの国々で多く見られる構造です。
問3	答え 4 一人あたりの穀物生産量が他の州と比較して極めて低い水準にあるため	アフリカ州の食料問題を理解する鍵は、人口と生産量のバランスにあります。アジア州などの他の州と比較すると、アフリカ州は人口の多さに対して生産される穀物の量が少なく、結果として「一人あたり」が手に入れられる食料が非常に少ない状態にあります。この供給不足が、慢性的な飢餓や食料不安の大きな要因となっています。なお、世界で最も人口が多いのはアジア州であり、アフリカ州の面積が他州より極めて狭いという事実もありません。
問4	答え 4 地中海と紅海を結ぶスエズ運河があり、ヨーロッパとアジアの航路を大幅に短縮できるため	エジプトはアフリカ大陸の北東端という戦略的な場所に位置しています。この地にあるスエズ運河は、地中海と紅海を繋ぐ役割を果たしており、船舶がアフリカ大陸の南端を大きく迂回することなくヨーロッパとアジアの間を移動することを可能にしています。これにより、世界の物流にかかる時間とコストが大幅に削減されています。
問5	答え 2 モノカルチャー経済	アフリカの多くの国々では、かつての植民地支配の影響により、特定の農産物や鉱産資源を輸出用に生産する仕組みが残されました。この構造は、国際価格の変動が国の経済に直接大きな影響を与えるという課題を抱えています。
問6	答え 1 レアメタル	スマートフォンや電気自動車のバッテリー、精密機器などのハイテク製品に欠かせない金属資源です。鉄やアルミニウムといったベースメタルに比べて産出量が少なく、特定の国や地域に埋蔵が偏っているという特徴があります。そのため、産出国の情勢変化が国際的な供給や価格に大きな影響を及ぼすことが課題となっています。
問7	答え 2 モノカルチャー経済	特定の農産物や鉱産資源の輸出に依存する経済構造をモノカルチャー経済と呼びます。国際的な資源価格の変動によって、国の経済全体や1人あたりGDPの推移が大きく影響を受ける特徴があります。
問8	答え 2 ナイル川の流域で古代文明が栄え、太陽暦が発明された。	説明文にある地理的特徴を持つ国はエジプトです。エジプトは「ナイルのたまもの」と呼ばれるように、大河ナイル川の恩恵を受けて古代文明が発展しました。他の選択肢は、それぞれインド（インダス文明）、中国（中国文明）、メソポタミア（メソポタミア文明）に関する内容であり、地理的条件や文明の特色が異なります。
問9	答え 4 エチオピア	緯度は赤道を0度として南北に、経度はロンドンの旧グリニッジ天文台を通る本初子午線を0度として東西に表されます。北緯9度は低緯度で北半球、東経38度はアフリカ大陸を縦断する範囲に含まれます。アフリカ東部に位置し、「アフリカの角」と呼ばれる地域に近いエチオピアがこの数値に合致する国となります。
問10	答え 4 雨季と乾季という周期的な降雨の変化によって広大な草原が維持され、そこを餌場とする野生動物が集まるため、野生動物観察を目的とした観光が成立している。	サバナ気候における観光業の成立には、特有の降雨パターンが深く関わっています。雨季に成長する草が広大な草原（サバナ）を作り、それを食料とする草食動物と、それらを追う肉食動物からなる生態系が構築されます。見通しの良い草原は、密林に比べて野生動物を発見・観察しやすいため、世界中から観光客を惹きつけるサファリツアーの舞台となります。これは気候・植生・動物・産業が密接に結びついた事例です。
問11	答え 1 アルジェリアは原油や天然ガスといった鉱物燃料の輸出に特化しているが、ブラジルは鉄鉱石、大豆、機械類など多様な品目を輸出している。	アルジェリアは輸出の約9割をエネルギー資源が占めるモノカルチャー経済の傾向が強い一方、ブラジルは農産物（大豆）、鉱産資源（鉄鉱石）、工業製品（機械類）という3つの柱を持っており、アルジェリアと比較して産業の多様化が進んでいます。南アフリカ共和国がブラジルの主要産出国であることや、ブラジルが工業化に成功している背景を理解することが重要です。
問12	答え 3 医療の普及や公衆衛生の改善によって死亡率が低下したため	アフリカにおける人口増加の主な要因は、乳幼児の死亡率や感染症による死亡者数が減少したことにあります。生活環境や医療技術が改善された一方で、伝統的に出生率が高い水準に保たれているため、出生数が死亡数を大きく上回る「多産少死」に近い状態となり、人口が急速に拡大しました。
問13	答え 3 医療の普及や公衆衛生の改善により、死亡率が低下したため	アフリカ地域では、以前は感染症や栄養不足などにより死亡率が高い傾向にありましたが、近年の医療技術の普及や公衆衛生の向上によって、特に乳幼児の死亡率が大幅に改善されました。高い出生率を維持したまま死亡率が低下したことが、急激な人口増加の直接的な要因となっています。